

すべての人が得られる福音の祝福

七十人

ジョセフ・W・シターティ長老

今日、地上の神の子供たちは、神がその子供たちのために用意された幸福の計画について、ほかのどの時代よりも深く理解する機会に恵まれています。

数週間前、アラスカで地域七十人として奉仕するメルビン・R・パーキンス長老とわたしは、カナダのブリティッシュコロンビア州バンクーバーステークの会衆を前にして壇上に立っていました。パーキンス長老は感動に声を震わせ、目の前に映る光景について考えてみるよう聖徒たちに呼びかけました。手車隊に加わったモルモンの開拓者の子孫と、遠いアフリカで開拓者として改宗した者が、隣り合って主に仕えているのです。

180年近く前にニューヨーク州フェイエットでわずかな人数で始まった末日聖徒イエス・キリスト教会は、全世界に広がる宗教になりました。わたしはこの驚くべき業の証人としてここに立っています。これから少しわたしの思いをお伝えしますが、主の御霊が皆さんとわたしとともにあるようお祈りします。

この最後の神権時代に啓示の鍵があることを感謝しています。回復以来、生ける預言者によってこの鍵が行使されたおかげで、今日地上の神の子供たちは、神がその子供たちのために用意された幸福の計画について、ほかのどの時代よりも深く理解する機会に恵まれています。

天の御父の愛がはっきりと分かります。あらゆる国のすべての生者と死者に、選択の自由を行使することにより、御父のみもとで昇栄を受ける道が現在と将来にわたって開かれているからです。標準も祝福もあらゆる人にとって皆同じです。神は御自分が人を偏り見るとをしないと再度おっしゃっています。

人の不死不滅と永遠の命をもたらすという神の目的が確かに成就されるような方法で、福音が地上に広まっています。

わたしたちの最初の両親であるアダムとエバは、墮落の後、救いを得るために神と永遠の聖約を交わしました。1 アダムの子孫が増えるにつれ、二つの民が現れました。

一つの民はエノクにより導かれ、聖約を完璧に守ったので、もはや地上にとどめ置かれず、主のみもとへ集められました²。

もう一つの民は、あまりにもひどく邪悪に支配されたため、神の裁きを受けました。洪水に飲み込まれ、ノアの家族³、すなわちエノクの義にかなった子孫⁴だけが無事に残りました。

神はノアと聖約を交わし、二度と洪水で地上の生命を滅ぼすことはない約束されました。5

ノアの一族が再び増えるにつれて、多くの人々が邪悪になりました。高慢になった民はバベルの塔を造りました。神は天の裁きが下るのをお許しになりました。そのため、彼らの言葉が乱され、民は全地に散らされました。従順であったわずかの人が守られました。6

守られた人々の中に信仰の篤いヤレドの兄弟がいました。彼は義にかなった生活をしてきたヤレド人を代表して、主に懇願しました。主は民をアメリカ大陸へ導き、民が主に仕えるなら、「奴隷の状態にも囚われの身にもなることなく、天下のほかのどのような国民からも支配を受けない」と約束されました。7また、ニーファイの民も後に同じ大陸へ導かれました。しかし、結局、ヤレド人とニーファイ人の文明は両方とも滅びました。民が忠実さを証明しなかったからです。

偉大な信仰を示して守られたもう一人は、ノアの子孫でありカナンへ導かれたアブラハムでした。神はアブラハムと聖約を交わし、彼の子孫を天の星のように増やし8、「地のもろもろの国民はあなたの子孫によって祝福を得る」と約束されました。9この約束の中の国民はバベルの塔から散らされたノアの子孫であり、一般的に異邦人として知られています。

神はアブラハムの息子イサク、そして孫ヤコブと聖約を新たに交わされました。ヤコブは後にイスラエルとなりました。

イスラエルの子孫は聖約が求めることを守れなかったために、モーセの神権時代に聖約が変更されました。より低い次元の聖約が与えられ、キリストが地上で教え導いて完全な福音を回復されるまで、その聖約はイスラエルの子らの中で存続しました。10

キリストの復活後、救い主は福音を異邦人に伝える時が来たとお知らせになりました。11主は以前、ぶどう園の労働者のたとえで、異邦人の民に順番に訪れ、民を招くと啓示されました。しかし、招く順番にかかわらず、同じ祝福が与えられるのです。12

救い主が昇天された後、イスラエルの子孫であり前任使徒であったペテロは、神権の鍵を持ち、その鍵によって教会を導きました。救い主がすでに許可をお与えになっていたにもかかわらず、ペテロは最初の異邦人コルネリオに、具体的な啓示を受けた後に初めてバプテスマを施しました。13これは重要なことです。

異邦人への教えと導きは、ペテロが殉教し、14ほかの使徒が亡くなったために中断されました。その後、神権の鍵は地上から取り去られ、背教の長い時代が続きました。

神権の鍵は、古代の使徒ペテロ、ヤコブ、ヨハネにより、1829年にジョセフ・スミスに回復されました。教会が組織される直前のことでした。完全な福音が再び

地上にもたらされ、新しくかつ永遠の聖約として異邦人の国民の間に広まり始めました。

異邦人の国民が招かれる順序を決める基準には、最後に地上に築かれる神の王国を物心両面で養う能力が含まれることを、主は預言者ジョセフ・スミスを通して啓示されました。15

回復された教会が地上に次第に確立されるに従って、福音を国民の間にどのように広めるかについて、生ける預言者が神の御心を尋ね、それに従ったことが分かります。

わたしはこれまで生きてきて、預言者ゼノスがオリーブの木のたとえの中で予知した時代をこの目で見てきました。地上のすべての国民の中の義にかなった人々がイスラエルとともに神の聖約にあずかるようになる日が到来しているのです。16

わたしは故郷のアフリカ大陸で福音が開花し、良い実を結ぶのを目にしてきました。わずか30年のうちに、聖徒の数は30万人に達しています。回復された福音の教義と原則の中に、多くの人が信仰という堅固な礎を見いだしています。町や都市により良い未来を求めて故郷の村落を離れた家族が、堅固な家族の伝統を持つ新しい道を見いだしています。そのような伝統は、国際化の時代の影響を受けて、進歩的に培われてきたものです。主の御霊が人々に力強く働きかけているのです。

日々の祈り、聖文の勉強、1週間に1度家族が集まる家庭の夕べを行うようにという生ける預言者の勧告に進んで従う人々により、日の栄えの新たな文化が家庭の中にはぐくまれています。その結果、多くの人が選択の自由の行使を制限する伝統という束縛から解放されることが可能になってくるのです。

個人的な経験の一例を挙げましょう。わたしの子供たちの3人は最近神殿で結婚しましたが、婚資金（訳注——婚姻時の新郎から新婦の家族に納める金品）という慣習の負担に縛られずに済みました。アフリカでは、そうした慣習が、互いに法的な契約を交わすことなく生活を共にするという結果を、多くの若人に招いているのです。今では、ガーナ・アクラ神殿、ナイジェリア・アバ神殿、南アフリカ・ヨハネスバーグ神殿の3か所で神殿結婚の機会にあずかることができ、結婚の神聖さに対するこれまでに抱いたこともないような希望を若人の心に植え付ける助けとなっています。

救い主イエス・キリストは、福音と昇栄の約束を与えてくださったことを証します。また、生ける預言者トーマス・S・モンソン大管長を通して救い主から導きを受けられるという確信がわたしたちにはあることを証します。主の導きによってすべての人に救いがこれからもずっともたらされるのです。イエス・キリストの御名により、アーメン。

注

1. モーセ6 : 52, 57, 59参照
2. モーセ7 : 19-21参照
3. 創世6 : 17-22参照。モーセ7-8章も参照
4. 教義と聖約84 : 14-15参照
5. 創世8 : 11-21 ; 9 : 8-10参照
6. 創世11 : 1-8参照
7. エテル2 : 8-12参照。エテル1 : 33-43 ; 4-6章も参照
8. 創世12-17, 22章も参照。アブラハム1-2章も参照
9. 創世22 : 18
10. ヘブル7 : 11-12, 19-22 ; 教義と聖約84 : 24-25参照
11. マタイ28 : 18-20参照
12. マタイ20 : 1-16参照
13. 使徒10章参照
14. Bible Dictionary, “Peter” の項, 749参照
15. 教義と聖約58 : 1-12参照
16. モルモン書ヤコブ 5 : 57-68 参照